



# みどり



## 55号 『顔面神経麻痺』

2012年10月1日発行／編集責任者 田中 眞／毎月1日発行／群馬県藤岡市篠塚105-1  
<http://www.shinozuka-hp.or.jp/center/>

今月から「顔に症状がでる病気」を紹介していきます。第一回目の今日は「顔面神経麻痺」です。

先月号で解説しましたが、「顔面神経」は左右12対ある脳神経の7番目の脳神経です。「顔面神経麻痺」という病気は、その顔面神経が様々な原因により正常に働けなくなる（麻痺する）病気です。顔面神経が麻痺するとどのような症状が見られるのか、顔面神経の機能を説明しながらみていきたいと思います。

### 顔面神経麻痺の症状は？

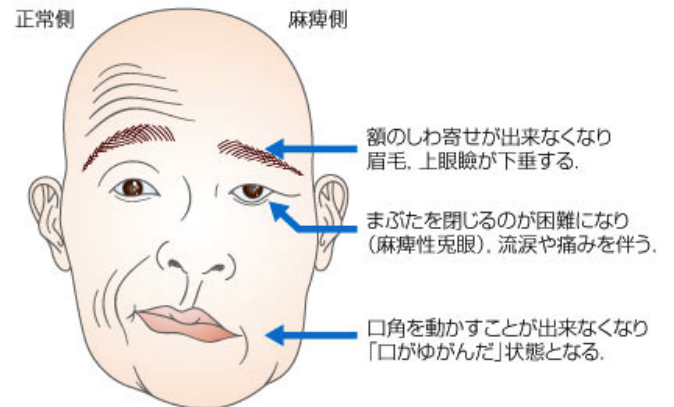
顔面神経の主な仕事は「目を閉じる」「笑う」など顔の表情を作るのに働く筋肉（表情筋）を動かすことです。そのため顔面神経が麻痺すると左右非対称な特異な顔貌となります（図1）。

顔面神経は表情筋のほかにも耳、舌、涙腺や唾液腺に枝を伸ばしています（表1）。したがって顔面神経麻痺を発症すると顔の筋肉の動きが悪くなるのに加えて、普段さほど気にならなかった音が不快なほどに大きく聞こえたり（聴覚過敏）、舌の前方半分で味がよくわからなくなったりします。これらの症状は顔の筋肉の動きが悪い方で起こります。

多くの場合これらの症状は「朝起きたら右目

図1. 顔面神経麻痺で見られる特徴的な顔貌

1. 額のしわ寄せができなくなり、眉毛、上まぶたが垂れ下がる。
2. 目を閉じるのが困難になり
3. 口角を動かすことができなくなり、口角が垂れ下がった状態になる。



日本形成外科学会 HP より

が閉じにくいことに気付いた」のように比較的急に生じます。その後数日の間に悪化していき

表1. 顔面神経が作用する場所と症状

- ◎中耳の耳小骨→聴覚過敏
- ◎舌→麻痺側の前3分の2の味覚が低下
- ◎涙腺、唾液腺→涙や唾液が出にくい

約 1~2 週間でピークに達します。

## 顔面神経麻痺の原因は？

表 2 に示すように原因は多彩ですが、最も多いものは特発性（ベル麻痺）で全体の 60~70% を占め、次いでラムゼイ・ハント症候群が 10~15% を占めます（どちらの病名もこの病気を初めて報告した医師の名前にちなんでいます）。

表 2. 顔面神経麻痺の原因

- ◎ 特発性（ベル麻痺）
- ◎ 感染性：ラムゼイ・ハント症候群，など。
- ◎ その他：外傷性，手術後，腫瘍，全身疾患に伴うもの，など。

### 1) 特発性（ベル麻痺）

原因が定かでない顔面神経麻痺で、ベル麻痺と呼ばれます。長らくその原因は不明とされてきましたが、最近ベル麻痺の約 60% は単純ヘルペスウイルス（1 型）の再活性化が原因であることがわかってきました。

ベル麻痺は予後良好で約 70% は自然治癒します。

なお、頻度は多くありませんがベル麻痺に 2-3 回かかる人や、家系内にベル麻痺が多発する例が知られています。

### 2) ラムゼイ・ハント症候群（ハント症候群）

こちらも急性発症しますが、ベル麻痺とは異なり水疱瘡（みずぼうそう）の原因ウイルスである水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化が原因です。顔面神経麻痺だけではなく、耳痛、外耳道や耳介の帯状疱疹、難聴やめまいなどを伴うのが特徴です。発症頻度はベル麻痺の約 5 分の 1 と少ないものの、治療が遅れると後遺症が残りやすいことからベル麻痺とは区別されます。

\* \* \*

ここでウイルスの再活性化についてももう少し詳しく説明します。単純ヘルペスウイルスも帯状疱疹ウイルスも多くの方が自然に感染しているものです。通常は全く症状を起こさずに神経節と呼ばれる神経の奥の方にひっそりと住み着いています。しかし、ストレスや過労など何らかの原因で体の抵抗力が低下した時に増殖し（これを再活性化と言います）、神経の炎症や腫脹を引き起こします。顔面神経の神経節でウイルスの再活性化が起こると顔面神経麻痺を発症するのです。ちなみに「帯状疱疹」も水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化が原因となる病気です。

「ウイルスが原因」といわれると「他人にうつるのでは？」と心配されるかもしれませんが、顔面神経麻痺そのものは人へ感染する病気ではありません。

## 顔面神経麻痺の治療は？

原因に応じた治療法が選択されます。

ベル麻痺もしくはハント症候群と診断された場合には、顔面神経の炎症や浮腫を軽減させるステロイドや、ウイルスの増殖を抑制する抗ウイルス薬、神経の再生を促進させるビタミン剤などの内服薬で治療されます。その他補助療法として、血流改善を目的とした星状神経節ブロックや高圧酸素療法が行われることもあります。

ベル麻痺の予後は良好であると記しましたが、実際の診療の場では顔面神経麻痺の原因がベル麻痺なのかハント症候群なのか明確に区別できない例も多く見られます。発症早期、できれば数日以内に専門医（当院および神経内科、耳鼻科）を受診し、適切な診断と治療を受けることが何より重要といえるでしょう。

（文責 金子 由夏）